

令和6年能登半島地震による
能登地区復興支援活動

GAIA 復興支援プロジェクト

令和6年度 事業計画書

令和6年3月～令和6年6月

GAIA 復興支援 プロジェクト

dream GAIA project

能登地区の復旧

被災者の身体及びメンタルケア

生活必需品の提供

通常時の活動内容

dream GAIA project という環境に配慮したサステナブルで持続可能社会の実現に向けたコミュニティ作りを2022年から行い、有機稲作農家さんを応援するGAIA有機稲作プロジェクトを立ち上げる。能登に住むご夫婦に誘われ珠洲神社秋祭りに参加。珠洲のおもてなし文化ヨバレ体験は私達のプロジェクトと共通点があり協力体制を作る。

GAIAの畑では、こども達が自然の中で作物を育てることで土や生きものと触れ合い感性を広げる遊び場のフィールド作りをしています。

設立目的

地震発生直後より能登地区より要請があり支援活動をスタート。

石川ではじめての大きな災害で混乱する現場と刻々変わるニーズに対応する中、過酷な厳冬と断水の被災地避難所のみならず金沢や石川県内へ二次避難される方への支援もはじまり長期化する復興は必須。

今回の災害を通じ地元石川で旗振り役となるような、支援団体が必要と鑑み「GAIA 復興支援プロジェクト」を設立しました。



活動地域の背景

令和6年能登半島地震により能登地区北部の被害は多大なものとなっています。

多くの家屋は全壊や半壊になり住む事が出来る状態ではなく、多くの被災者は金沢市をはじめ加賀地区などの二次避難先での生活を強いられています。

能登地区は高齢者の方が多く、ライフラインの止まった避難所生活は厳しく、県も二次避難を推奨し、いち早く加賀市へ避難されました。

慣れ親しんだ故郷を離れ見知らぬ場所での長期生活は高齢者には不安もあり、残してきた家屋や倒壊した家には生きてきた証としてのたくさんの思い出や大切にしていた物（位牌や預金通帳など）があり後ろ髪を惹かれる想いでいます。

特に奥能登珠洲の暮らしは、自然と一体で生きる知恵が豊富にあり小さくてもいいから小屋を建て、またもう一度海の幸、山の幸に恵まれた自給的な暮らしに戻りたいというふるさとへの回帰への強い願いや思いがあります。

その願い想いを支援サポートし、国の重要無形文化財であり石川県内最初のユネスコ無形文化遺産にも選ばれている「アエノコト」=アエは「饗」コトは「祭」に代表する珠洲の風土を活かした、心のもてなし食文化や伝統産業の復活は地域の復興の要になり実現させるためには長期に渡る支援サポートが必要だと考えています。



解決を目指す課題

- 被災者が自宅に戻る為の家屋復旧の人手不足
- 被災地域の田畑復旧の人手不足
- 被災者の不安やメンタルの低下
- 継続的な食料・燃料などの不足
- 被災地の祭りなどの文化の風化



いままでの活動実績

1 月 1月1日～1月31日

- 地震発生から情報収集し情報が錯綜する中被害状況の確認。
 - 珠洲小泊地区より物資や支援金の要請により物資調達。
 - 現地ニーズに対応し物資リスト作成。
 - 小泊地区での避難生活の環境や体力面を考慮し、二次避難を啓発して 70 世帯約 95 名のうち 40 名が移動完了。
 - 現地避難所とのコーディネートを進める中、公設と民間避難所の物資格差や在宅被災者の置かれている環境を確認。
取り残されている小さな集会所を中心に物資を運ぶことに転換し、全国から支援物資を募り現地へ運んだ。
 - 支援者より車椅子 100 台の申し出を受けて、小松市とマッチングコーディネート完了
 - 石巻圏域子ども食堂連絡会議より学生服の制服支援の申し出あり金沢市教育総務課マッチング完了。
-

1 月 20 日頃に珠洲市社会福祉協議会と一般社団法人 BIGUP 石巻との連携をスタート



今後の活動内容

2月

2月1日～

活動の基盤整備と BIG UP 石巻、大阪のサポートに入り支援活動の心得などを習得する期間と考えています。これにより珠洲市での活動を行うにあたり、様々な支援者連携体制を整える助走期間としてとらえています。

加賀へ二次避難している方と石巻市の復興住宅の住民と

Zoom 交流会を開催

2月中頃を開催予定

- ・被災後の仮設住宅での課題や問題点を教授してもらう場の創出。
- ・アーカイブ映像として記録し他地域の方々にも知ってもらいたい。



今後の活動内容

3月

3月1日～

1

能登に物資拠点整備し家屋の被害状況調査、修繕など被災者さんの希望を聞きながら活動。

2

珠洲地区の被災者の方たちへ慰問

ヒアリング、傾聴、カウンセラー派遣などを行い、ふるさと小泊へ戻り以前の暮らしに戻れるように支援していく。

3

長期に渡る支援となる為、期間プロジェクトとして金沢 ⇄ 珠洲地区の乗用車定期便を運行します。

4

マイクロバスで故郷へ帰る機会を創出。

高齢者の方は、家がどうなっているか心配でも、移動する事すら難しい状況です。家屋の整理をするにも地震発生から家に戻れてない方もいます。今の状況を見ていただいて、どう整理するかなど今後のヒヤリングのきっかけを創出し、その後、家屋の整理や片付けが終わっている状況などのタイミングで、ふるさとの状況などを見てもらう機会を創出します。



GAIA 復興支援プロジェクトの事業内容

1

能登地区の復旧

- ・被災地の状況把握の為の情報収集
- ・家屋の片付け、清掃、修理の実施
- ・地域の防犯対策の実施
- ・地域の田畑の復旧整備の実施

2

被災者の 身体及びメンタルケア

- ・避難先での傾聴活動やお悩み相談会の開催
- ・マッサージやヨガワークショップのイベント開催
- ・復旧状況の進行を被災者にお知らせする

3

生活必需品の提供

- ・支援物資の調達
- ・支援物資（食料品や燃料など）の定期的な運搬及び配給



能登地区の復旧活動

地域現状の状況把握と情報収集

- 能登地区に活動拠点を設け細かい現地状況の把握
- 他団体との連携を図り情報収集及び共有

家屋の片付け、清掃、修理

- ボランティアスタッフによる清掃活動
- 被災者の大切な物を見つけ出し保管→被災者に届ける
- 専門家による家屋の修理

地域の防犯対策

- シートや板などを設置し侵入経路を塞ぐ
- 不審者や不審車両などの見回りを行う

地域の田畑の復旧作業

- 他の団体との連携による地盤整備サポート
- 農業用水路の整備



被災者の身体及びメンタルケア

身体的ケア

避難先でのイベント開催

- 専門スタッフにより希望者にマッサージを行う
 - ・ヘッドマッサージ
- ヨガワークショップの開催



メンタルケア

避難先での傾聴活動

- 心理カウンセラーによるヒヤリング
- お悩み相談会を開催
- 被災地及び家屋の復旧状況の報告
 - ・写真や映像などを撮り被災者に見てもらう



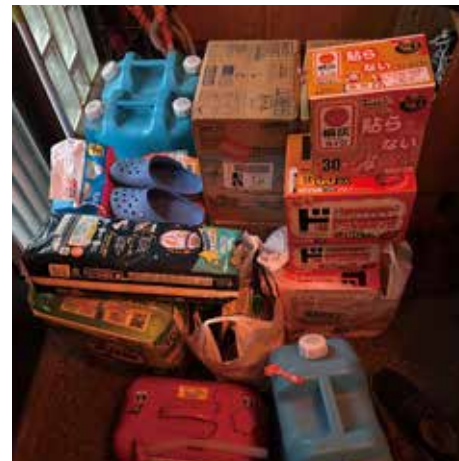
生活必需品の提供

定期的な支援物資の 運搬と配給

- 被災者からの支援物資のヒヤリング
- 支援物資の調達（SNS などを使った情報発信）
- 現地までの支援物資の運搬
- 現地拠点から各被災者への配給



支援物資募集の情報拡散



支援物資集まる



支援物資 避難所（珠洲市／飯田高校）



支援物資 民間避難所（珠洲市）